

<農地・水・環境保全向上対策と連携して効果的に活動に取り組む事例>

○集落営農が取り組む環境保全型農業

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	石川県小松市上麦口 <small>こまつしかみむぎくち</small>			
協定面積 1.9ha	田(100%)	畑	草地	採草放牧地
	大麦			
交付金額 20万円	個人配分			0%
	共同取組活動 (100%)	農用地の維持管理費		50%
		農道の維持管理・補修等		39%
		役員報酬		11%
協定参加者	麦口地区営農組合(構成員9人)			開始:平成18年度

2. 取組に至る経緯

当集落は、急速な高齢化の進行及びほ場条件が良くないこと等から集落内での認定農業者の育成や他地域からの入作が期待できず、耕作放棄地の発生が懸念されていた。

このため、集落協定の締結を契機に集落内での話し合いを進め、集落全体による水路・農道等の維持・管理や農地保全に取り組むとともに、平成18年9月に設立した麦口地区営農組合を中心とした集落営農体制の強化を図ることに至った。

3. 取組の内容

当集落は、農地・水・環境保全向上対策と連携して中山間地の特性を生かした高付加価値農産物の生産を目指すとともに、虫の生息等生態系保全に資するため、地域全体での浅水代掻きや稲わらのすき込みを実施している。

また、先進的に減農薬、有機質肥料の投入などの環境保全型農業を実施するものであり、環境負荷低減を図っている。



【農地から見た集落風景】



【農道管理状況】

[集落の将来像]

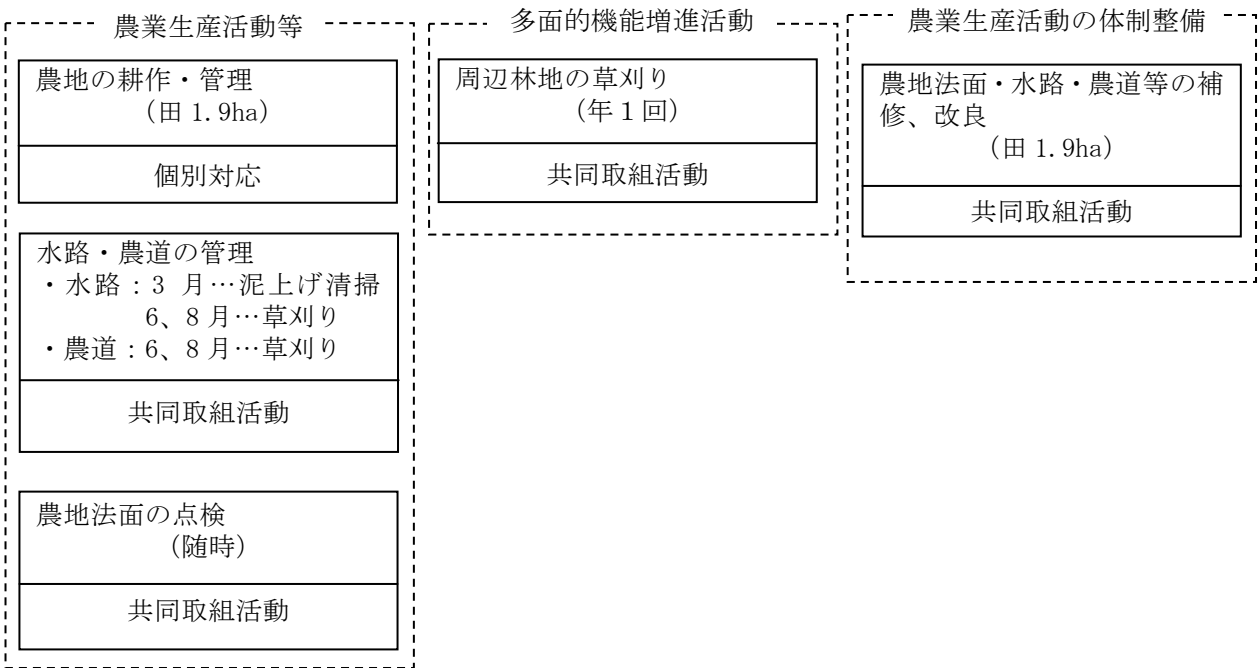
当集落は、全農家が水稻・大麦を中心とした第2種兼業農家であり急速な高齢化が進行している。今後集落の農業者を中心とした集落営農組織を担い手として位置付け、集落営農組織への利用集積を図り、農用地の保全、農作業の共同化による農業経営の効率化と農村景観の維持に努める。



[将来像を実現するための活動目標]

・耕作放棄が発生しそうな農用地については、集落営農組織への農作業の受託や利用権の設定等集落営農組織に農地の利用集積を図り、集落営農組織の構成員が共同で役割分担しながら営農活動等を継続し耕作放棄地の発生を防止する。

[活動内容]



4. 今後の課題等

協定農用地について、既存集落営農組織による集積率100%を達成することができた。今後も集落内の農家と連携して引き続き現状維持を図っていくことが課題となっている。

[第2期対策の主な効果]

- 鳥獣害防止対策
 - ・イノシシ防除の電気柵設置 (約1km)
- 担い手集積化
 - ・協定対象農用地の集積 集積率100%